

よむよむ

4・5・6年生のみなさんへ

大おばさんの不思議なレシピ

柏葉幸子/作 児島なおみ/絵 偕成社



大おばさんが残した料理や裁縫のレシピは、「星くず袋」や「魔女のバック」など、おかしなものばかり。美奈が「星くず袋」を作ってみると、突然、不思議な世界に引き込まれてしまいました。

アヤカシさん

富安陽子/作 野見山響子/画 福音館書店



小学生の啓と大学生のメイおばさんには、普通の人には見えない“アヤカシ”が見えるという秘密がありました。啓はおばさんとの約束をやぶって、アヤカシのおじいさんに誘われるまま、古い鍵を拾ったことから、不思議な体験をすることになります。

すえっこOちゃん

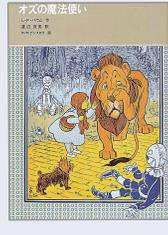
エディス=ウンネルスタッツ/作 下村隆一・石井桃子/訳 ルイス=スロポドキン/画 フェリシモ



7人兄弟のすえっこOちゃんは、自分に妹や弟がないので、ねこのクロにむりやり服を着せ、乳母車にのせ、お姉さん気分で散歩にでかけました。ところが、とびかかってきた犬におどろいて、坂のどちゅうで乳母車から手をはなしてしまいます。

オズの魔法使い

L・F・バウム/作 渡辺茂男/訳 W・W・デンスロウ/画 福音館書店



ある日、ドロシーは家ごと竜巻にまき込まれ、不思議な国に吹きとばされてしまいました。魔法使いのオズ大王に元の世界に帰してもらおうと、かかし、ブリキのきこり、ライオンと一緒に、大王が住むエメラルドの都に向けて旅立ちます。

ぼっぺん先生の日曜日

舟崎克彦/作 岩波書店



ある日曜日、生物学の助教ぼっぺん先生は、古いなぞなぞの本を開いたとたん、本の中に入っていました。「ペリカンのくちばしには、なぜくろがっているのでしょうか」本を抜け出すには、これらのなぞなぞを解かなければなりません。

起業家フェリックスは12歳

アンドリュー・ノリス/著 千葉茂樹/訳 あすなろ書房



母の誕生日にカードを買えなかったフェリックスは、友達のを印刷してプレゼントしたところ、売ってほしいと言う人も現れて、カード販売のビジネスを始めました。売り上げが増えるにつれ、課題も出てきますが、仲間と一緒に解決していきます。

カエルになったお姫さま

お姫さまたちの12のお話

アニー・M・G・シュミット/作 西村由美/訳 たちもとみちこ/絵 徳間書店



着飾ることが大好きなお姫さまが、ある日カエルの皮でできた緑色のぼうしがほしいと言うと、頭だけカエルになってしまいました。このほか、遊園地に行きたくて宮殿をぬけだした王さま、やさしすぎて国中をこまらせる王子など、12のお話が入っています。

ノロウェイの黒牛

イギリス・スコットランドのむかしばなし

ながかわちひろ/文 さとうゆうすけ/絵 BL出版

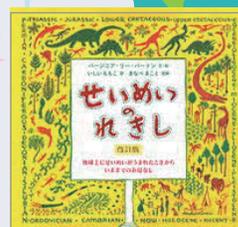


「結婚相手はノロウェイの黒牛」と3回言った未娘の元に、黒牛がむかえにきました。黒牛と旅に出た娘は、黒牛のやさしさを知り、とげを抜いてあげました。すると黒牛にかけられた呪いが少し解け、王子の姿になりました。けれども、本当の呪いはまだ残っていました。

せいめいのれきし 改訂版

バージニア・リー・パートン/文・絵 いしいももこ/訳 まなべまこと/監修 岩波書店

46億年前に地球が誕生し、やがて小さな生物が現れます。植物や動物が進化し、恐竜の時代から人間の時代へ移っていきます。次々と場面が変わる舞台のような絵とともに、宇宙からまる壮大な生命の歴史をひもときます。



むかし、むかし、地球は・・・

はじまりは たき火

火とくらしてきたわたしたち

まつむらゆりこ/作 小林マキ/絵 福音館書店

大昔、人々は火の力に気づき、エネルギーとして利用し、便利な生活を送るようになりました。けれども、エネルギーを使い過ぎて森が減り、空気や水が汚れてしまいました。大切な地球のため、私たちにできることを考えてみましょう。

